

令和5年度 第3回まちづくりミーティング

令和5年10月19日（木）18時30分～

教育プラザ富樫 121・122研修室

三馬、米泉、富樫、伏見台校下（地区）

(1) 市長あいさつ

【村山金沢市長】

皆さん、こんばんは。三馬、米泉、富樫、伏見台の各校下の皆様方におかれましては、平日の夜の何かとお忙しい時間帯にもかかわりませず、このようにお集まりいただきましてありがとうございます。

さて、まちづくりミーティングでありますけれども、昨年度は金沢の未来を語るまちづくりミーティングとしまして、10年後の金沢の未来像について意見交換をさせていただきました。新たな都市像につきましては、今月からパブリックコメントを始めておりまして、11月2日までの予定でさせていただいております。現在、都市像の策定の検討委員会からの提言を受けまして、これをまとめたものとして行っておりますけれども、皆様方からまたご意見をいただければと思っております。

まちづくりミーティングにつきましては、今回は従前の形に戻させていただきまして、それぞれの校下（地区）の課題をお聞かせいただきながらその解決策を一緒に考えていく、そのような場にさせていただきたいというように思っております。

さて、今年5月に珠洲市を震源とした大きな地震がございました。また7月には、かほく市、内灘町、津幡町などで大雨による被害が大きくありました。金沢市でも北部に被害がありましたけれども、そういった水害の被害もありました。100年に一度、数十年に一度と考えていたもの、想定外の規模で訪れる、そんな状況になっております。

皆様と一緒に強靱な金沢市をつくっていく、そしてハードだけではうまくいかないところもあると思います。自助、共助、公助といったところでソフトの対策についても行っていきたいというように考えておりますので、今日も防災面についての議題もあると思います。ともに考えていければと思っております。

また、金沢マラソンにつきましては、いよいよ10日後に開催されます。今年はランナーの規模を昨年の1万2,000人から、国外のランナー1,000人も含めまして1万3,000人に拡

大をさせていただいております。また、沿道の応援についてもこれまでのような自粛はせずに、掛け声もオーケーという形になりました。町会の皆様方、あるいは町内の皆様方には大変ご苦勞をおかけし、また交通の面でもご協力をお願いするところではありますけれども、ぜひともに金沢マラソンを盛り上げていただければと思っております。

さて、本日は様々な議題を事前にいただいておりますが、それ以外にも会場にお越しの方々からもご意見をいただければと思っております。限られた時間ではありますけれども、また今日出席の局長の所管の範囲以外のものもあるかもしれませんが、可能な限りお答えをさせていただき、また答えられないものについては後日お答えをさせていただきたいと思っておりますので、この時間が有意義なものになることをお願いいたしまして、私の冒頭の挨拶とさせていただきます。

(2) 地域代表あいさつ

【米泉校下町会連合会 会長】

皆様こんばんは。

今日は、富樫、伏見台、三馬、米泉校下の代表といたしまして、一言ご挨拶をさせていただきます。

本日は村山市長様をはじめ、各局長様、おいでいただきまして誠にありがとうございます。各校下の課題につきまして、後ほどまたご意見なりご指導のほどよろしく願いいたしたいと思っております。

また、今日はお疲れのところ各地区からの代表の皆様おいでいただきまして本当にありがとうございます。最後までご清聴のほどよろしく願いいたします。

今日は、各地区のこれまで考えていたことや、あるいは思っていること、そういうことをここで発表していただいて、そして行政の方にご意見をいただき、またはご指導をいただくというようなことを考えております。その中で両方が共有できることがあれば、そこを実行していただきたいなど、こういうふうを考えております。

そして、このまちづくりミーティングが実施されてよかったと思われるような会議にしていきたいなど、こういうふうに私は思っております。

このミーティングは4年に1回ということを知っております。これまでの経験から言いますと、米泉校下といたしまして、過去に課題といたしまして結ネットの導入ということについてお話をさせていただきました。ちょうどそのときにICT推進という形で金沢市

のほうも地域コミュニティ活性化推進事業を推進しておられましたので、本当に積極的にご協力をいただいて、今では金沢市内62校下のうち40校下ほどがこの結ネットを導入いたしまして、各地区の行事に非常に貢献しておるといふふうに私も聞いております。

こういうことでありますので、皆様、この事例を基に、できるだけ今日発表される課題が有意義なものとなりますように、ひとつよろしく願っていたいと思っております。

(3) 地域課題の説明、課題に対する市の方針等の説明、討議

①三馬校下の道路環境の改善について（三馬校下）

「地域課題の説明」及び「課題に対する市の方針等の説明」については、レジュメを参照願います。

※ ご意見・ご質問等はありませんでした。

②米泉小学校の屋外トイレの改修について（米泉校下）

「地域課題の説明」及び「課題に対する市の方針等の説明」については、レジュメを参照願います。

【米泉校下町会連合会 会長】

今のご回答本当にありがとうございます。

私も学校のほうに修繕されたよというお話を聞きましたんでちょっと行ってきまして、本当に排水がよくなりまして、ありがとうございます。

また、問題は今、教育長さんがおっしゃっておいでたバリアフリー的なもの、それがまだちょっと高齢者の方とか小さい子供さん等、あるいは障害の方にちょっと問題があるかなと思って見てきたんですけれども、あとのことにつきましては修繕されておりました本当によかったなと思っておりますし、ここでお礼を申し上げます。

【野口教育長】

大変ありがとうございました。積極的にトイレ等をご活用いただければと思います。

また、バリアフリー化の部分につきましては我々も意識を高く持っておりますので、また教育委員会の中でもいろいろと話をさせていただきたいと思っております。

③富樫公民館・児童館建設について（富樫校下）

「地域課題の説明」及び「課題に対する市の方針等の説明」については、
レジュメを参照願います。

【富樫校下町会連合会】

要望というかお願いということなのですが、やはり私たちの公民館だけではなく金沢市の62館中のほとんどの公民館が既に30年以上経過していると思います。

令和4年の4月の市議会報を見ますと、50年以上の公民館が2館、40年から50年が16館、30年から40年が24館と、42館が既に30年以上経過しているということになっております。

やはり近年は物価も高騰しています。もう一つは、なかなか地域に協力してくれる人は昔と違って少なくなってきたところがあって、お金を集めるのが実は大変になってきております。

2019年の改正労働基準法によって来年の4月から運送業と建設業の労働時間が制限されます。そういうことによって工期が伸びるということもこれからは考えなきゃいけませんので、具体的にとは言いませんが、できる限り各公民館がスムーズに建てられるようにご協力のほどよろしく願いいたします。

【野口教育長】

ありがとうございます。今のお話については重々に私ども理解しているつもりであります。

ただ、1館だけの問題ではなく全市的な話になると思いますので、先ほどお話し申し上げたとおり各担当課とも共通の認識をしております。今後ともそういう意識を高く持ちながら、地元負担の軽減についてしっかりと配慮させていただきたいと思っております。

今すぐ明確にどれだけということは私の立場から言えませんが、配慮しながら進めていきたいと思っておりますので、どうぞご理解ください。

④災害時における避難所について（伏見台校下）

「地域課題の説明」及び「課題に対する市の方針等の説明」については、
レジュメを参照願います。

【伏見台校下町会連合会】

ありがとうございました。もう一つ、高尾台中学校のほうも聞いた中で、国際高専のほうの設置状況というのを教えていただいてもよろしいですか。

【上野危機管理監】

多分、お話があった近隣の高校や専門学校とは、錦丘高校でありますとか、国際高専のことかと思いますが、本市では、大雨等に際しては災害発生のおそれがある地域の避難所を選択して開きますが、震度5弱以上の地震が発生した場合には、市内全ての指定避難所を開設いたします。したがって、国際高専等につきましても開設することになります。

万一、このような大きな地震が発生した時、必ずしもご自宅にいるとも限りません。市内には二百数十か所の指定避難所がありますので、一番安全に行ける避難所を選択していただきたいと考えております。

また、もう1点付け加えるとするならば、ハザードマップ等で浸水や土砂災害などに対して、ご自宅が安全か否かを既に確認されていらっしゃる方も多いと思いますが、近年は耐震性の高い住宅や鉄筋コンクリート造の高層マンション等も増加しており、皆様におかれては、ご自宅の建物構造なども考慮した上で、例えば大雨等による災害発生のおそれがある場合に、避難所に行くべきか、ご自宅に留まり安全を確保する在宅避難で良いのかをあらかじめご検討いただきたいと思います。ただ、1点気をつけていただきたいのは、在宅避難においては、ご自宅に飲料水や食料などを備蓄しておくことが重要となりますので、必要な物資を備えた上で、有事の際の避難の方法をご検討いただきたいと思います。

ご不明な点や、もっと詳細に知りたい点がございましたら、私どもまで遠慮なくお問い合わせいただければお答えしたいと思いますので、よろしく願いいたします。

(4) 共通課題についての討議

災害時における危険個所の市の把握状況について

「共通課題の説明」及び「課題に対する市の方針等の説明」については、レジュメを参照願います。

【三馬校下町会連合会】

共通課題に関しては、三馬もいろいろ道路管理課のほうから、ここをします、こういう

工事をしますといつも案内いただきまして、ありがとうございます。

各町会長も把握をして安心なさっていると思うんですけども、例えば急に洪水のような、ばーっと来たときに壊れる橋がないのか、そういう意味で災害にも関係しますし、私たちが分からない、ちょっと崩れるとかそういう箇所がないかなとかっていう心配ですけども、やはり老朽化というのは人間と同じように道路もいろんなところが古くなるのは当然なんで、私たち地面の下見えないんですね。そんな意味で心配事が多いものですから、そこを共通の話題ということで挙げていただきました。

【木谷道路管理課長】

道路のインフラについてももう少し詳しくご説明します。

道路インフラの中では舗装のある道路と、橋とがございます。橋については、やはり川を渡るという重要構造物でございます。5年に一度の点検を引き続きやっておりまして、常々補修と点検をしております。金沢市内には今すぐ落ちるような橋はございません。

ただ、橋は予防保全という考え方でやっておるんですが、道路につきましてはどうしても国道、県道、市道とも、事後保全という考え方になります。穴が開いたら直す。穴が開く前に直せばいいのですが、穴が開いてからどうしても直してしまう、傷んでから直してしまっているというのが現状です。

高速道路であれば予防保全という考え方は多く取り入れられていると思うんですが、国道、県道、市道はあくまでも事後保全、傷んだら直すという考え方でやっております。

金沢市内2,200キロ市道がございますが、穴ぼこがあったり、ひび割れがあったりしたら心配だと思いますので、道路管理課のほうにご連絡ください。よろしく申し上げます。

【三馬校下町会連合会】

今日、教育長さんもいらしているので、ちょっと教育的なことでお聞きしたかったんですけど、これは校下だけの問題だけではなくて金沢市には公園がいっぱいあります。

公園はいろんな意味で小学校、中学校、もちろん幼児もみんな使っているんですけども、公園というものに対する教育的配慮と、それから子供たちの育成をどう考えていらっしゃるかなど。案外学校ばかりが教育となっていて、地域のほうとしては私たちがどこまですればいいのか、どこまで予算組めばいいのか分からなくて、そこは難しいところは要らないです。教育長さんがどう考えていらっしゃるか、公園と教育に対してどうかな

と、思って、ちょっとご意見いただきたいだけです。突然申し訳ございません。

【野口教育長】

最近、放課後の運動場を見ている、群れて遊んでいる子は減ったなと思います。

また、家庭へ帰った後も、公園で遊んでいる子供たちの人数が本当に減ってきたなと思います。

子供たちに聞いてみると、家へ帰ってからいろいろな習い事等があつて公園を積極的に使って遊ぶことは難しいように感じています。

公園の使い方につきましては、特に小学校1、2年生で実施している生活科の中で公園等へ出かけ、正しい使い方、安全な使い方、また公園の動植物に触れるなどで公園を楽しく使うことについて勉強をさせていただいております。生活科は全市共通の教科書も使っていますし、先生方みんなその内容に沿って、公園で活動していることをご理解いただければと思っています。

また、公園のいろいろな遊具が傷んでいることやそれらの修理につきましては、教育委員会が直接担当しているわけではありませんが、先生方も授業等で地域へ出かけておりますので、改善の必要性を感じたときには教育委員会に声が届くこともあります。そのときには関係課に連絡し早期に直すよう求めています。

【三馬校下町会連合会】

ありがとうございます。突然申し訳ございません。

(5) その他質疑応答

【三馬校下町会連合会】

私、高齢者の会の会長をしておりますので、南部地区代表の市の老人連合会の理事をやっております。彦三館に事務所があります。年に四、五回彦三館に行って会議とか役員会をやりますけれども、彦三館には老人連合会の事務所以外にもたしかボランティア大学校とか高砂大学の事務所があると思います。

建物は非常にすばらしい建物です。機能性もいいし。ただ問題は、駐車場がないんです、少ないんですわ。建物の横に、私の観察した限りでは15、6台しかないかなと思うんですけども、ほとんど会議に行っても彦三館の駐車場は使えません。それで、私は周辺の民間

の有料駐車場へ止めますけれども、日によっては民間の駐車場も満車のことがあるんです。その駐車場を探す間に5分以上かかるわけです。会議に遅れることもありました。

高砂大学はしょっちゅうあそこで大きな集会とか研修会やっております。「公共交通機関で来てください」という方針らしいんですけども、公共交通機関は、武蔵しかないんですわ。彦三大通りに北鉄の乗合バスは通っていません。中島大橋渡って森山方面にはバスは通っていません。武蔵から降りて彦三館まで来るのに私は10分以上かかるんです。氣候のいいときは歩いて行きますけれども、今年の猛暑のときとかこれから寒くなる冬になると10分から15分歩くのは大変難儀なんです。

そこでちょっと飛躍しますけれども、私、三馬校下ですから有松の郵政官舎の跡地は金沢市が取得するというのを聞いております。12月議会で正式に契約されるんじゃないかと聞いており、今後、南部地区の福祉向上のための施設整備が予想されております。行政に関する建築物、大勢が集まる集会所とかそういうものはできると思います。また3,000坪ありますので、多分50台以上、100台近くの駐車場も確保できるんじゃないかと思えます。それから、北鉄の乗合バスも、国道157号線に沿って松任・野々市方面にも5分から10分置きにバスが通ります。郵政官舎の跡地の真向かいにも二万堂のバス停もあります。市民が利用すると非常に快適な敷地だと私は思います。

私の希望では高砂大学、それから老人連合会、その他福祉に関する第三セクターの事務所も入るような建物をしていただけないかなと、そういうことを考えております。

その点について、将来の市民のためにも、ぜひ有松の官舎跡地には福祉向上に関するすばらしい建築物等の構想をひとつお願いしたいなと思っております。

【村角都市政策局長】

ご意見、ご質問いただきましてありがとうございます。

彦三館から有松、三馬のKKRの用地までかなり広範な大きな課題かなというふうに思っています。まず、KKRのほうから少しご説明をさせていただきたいと思えます。

国家公務員共済組合、いわゆるKKRが今所有しております用地について、前回の議会で取得をするための予算をお認めいただきました。現在、KKRのほうと取得に向けた最終の手続を詰めています。手続がまとまった段階で契約締結に必要な議案をまたもう一度議会にお諮りをして、正式に市として取得をするという運びになってまいります。

KKRの用地につきましては、地域の皆様から様々なご要望をこれまでいただいております。

ます。保育所の問題であるとか、何かお子様からご高齢の方までが集える機能を持たせられないかとか、いろいろなご要望を承っております。

周辺には三馬小学校や保育所もございます。この教育プラザ富樫等々、公共施設も幾つかございます。いずれの施設も老朽化が進展してきている状況ですので、近隣の教育福祉施設の再編に何か活用できないかなというふうに思っています。

現在、予算をお認めいただいた土地の取得と併せて周辺施設の現状調査もさせていただいています。ご提案のあった駐車場については、その公共施設にどれだけの容量の駐車スペースが必要なのか、そういったことについてもしっかり検討していきたいと考えています。また、新たな機能についても検討を重ねていきたいというふうに思っています。

現段階では、どういうふうな土地の利用になるか具体のところまではまだお示しすることはできませんが、しっかり丁寧に検討を進めていきたいと思っています。

その中で彦三館も、とのお話でございますが、まずは近隣のこの周辺の施設の再編のために使っていきたいというふうに考えています。広くエリアをくくってしまいますと、結構何でもできるかなというふうには思うんですけども、やはりそれぞれエリア性、地域性というものがございます。

彦三館の駐車場の課題については、かねてからそういう課題があるということはお聞きしております。今後、彦三館の利用をする中で、あるいは更新のタイミング、そういった折に課題解決を図っていくべきものというふうに考えております。

まずは有松のKKR用地については、先ほど申しあげました周辺の教育福祉施設の再編の在り方の中で十分検討を重ねていきたいというふうに考えています。

【富樫校下町会連合会】

先ほど下水道とトイレの話が出たのでちょっと質問したいのですが、災害が起きたときに下水管トイレというのがあるんですが、去年、市民防災訓練を富樫校下でやったときに南部ブロックで下水管トイレってどこどこにありますかという質問を危機管理課へしたときに、四十万と大桑の防災拠点しかありませんという回答がありました。

私たちも今年も防災訓練やったんですが、今の若い子は普通のごみ袋に入れて簡易トイレでやるということを一応レクチャーはするんですけど、多分若い子は抵抗があつてなかなかしないんじゃないかなというのが予想されます。

例えば既存の建物に下水管トイレを造るのは多分費用もかかって厳しいと思うんです

が、新規で建て替えた建物に対して下水管トイレを設置したりするということを考える構想とかございませんでしょうか。ちょっと興味があったんで質問してみました。

【上野危機管理監】

お尋ねいただきありがとうございます。

今おっしゃったのはマンホールトイレのことですね。本市では、毎年国の補助金も活用しながら、拠点避難所となる小学校において、着実に整備を進めております。

例えば、新設の小学校があれば、校舎築造にあわせて整備しますし、既存の小学校においても計画的に整備を進めております。今手元に資料がありませんので、具体的な整備の進捗状況はお示しできませんが、あらためてお尋ねいただければお答えいたします。整備箇所数は着実に増えており、今後も計画的に整備を進めてまいります。

そのほかにも、学校以外はどうかというご質問でしたでしょうか。

【富樫校下町会連合会】

学校は当然、防災拠点になりますので必要だと思います。この間、危機管理課に聞いたときに、マンホールトイレの設置箇所が少ないという話を聞きましたので、例えば公共施設を造る際に小学校にマンホールトイレがない場合だったら新しく建て替える建物とかに設置するという予定がございませんでしょうかという質問です。

【上野危機管理監】

今のところ、まずは拠点避難所となる小学校を基本に整備を進めておりますので、なかなかそれ以外の施設にまで対象を広げることは難しい状況です。ただ、毎年着実に整備を進めている中で、今のご意見にありましたように、ここに施設の新築予定があるが、避難所として利用できるのではないかとか、いろいろなお話をいただければ、私どもの方でも検討したいと思っておりますので、お気軽にご相談いただければと思います。

【市村企業局次長】

マンホールトイレですけれども、下のマンホール部分というのが金沢市企業局のほうで整備をしております。毎年、学校について2か所ぐらいずつを危機管理課さんと共同で整備しております。

危機管理監が言いましたように、基本はまずは拠点避難場所、小学校、そちらのほうを順次整備していくということで進めておりまして、マンホールトイレを造るだけではなくて、そこから下流側に向かって処理場のほうまで行く、その管路の耐震化も併せてやっております。そういったこともございますので、毎年2か所ずつくらいの設置規模となっております。

取りあえずは今申しましたように小学校を優先しておりますけれども、またそういった新築の建物、公共施設とかでここも一応避難所になるからどうだとかそういう意見がありましたら、危機管理課もしくは企業局のほうまでご相談いただければと思います。

【三馬校下町会連合会】

先ほどちょっと手を挙げそびれたので、もう一度少し念を押したいと思います。

一つは、金沢高校の前の通りと大きい通りとぶつかる交差点があるんですけども、毎朝あそこに主に西金方面から大量の自転車が来ます。金沢高校だけではないと思うんですけども、そこに歩いてくる生徒さんも来ます。あそこの信号がすごく渋滞するんです。車も渋滞していますけれども、自転車、歩行者も渋滞するんです。せめてあそこをある時間帯、信号の時間を長くすると何か工夫できないでしょうか。

それからもう一つは、電車道と言われている道路があるんですけども、泉2丁目から3丁目に向かう道路、野町から来ている道路です。その道路は朝の段階、特に今の渋滞もありまして抜け道ですごく使われているんです。当然学童も使っていますので、そこもすごく危ない道路なんです。その電車道が有松に出るところですけども、そこに信号が一つ、大通り側の信号があるんですけども、そこはたしかボタンを押して青になるという形だったと思います。あそこを時間的に変わるようにしてもらえないでしょうか。出口ですごく渋滞します。そのためにさらにその信号を子供たちが渡るときにまた困っているのです。信号のところで過去に何回も事故がありました。

私の何代か前にも、町会から中署さんだと思いますが要請したことがありますけれども、そのときは駄目でした。その後、対策は一度もありません。

今、議員さんを通じて少しお話をしているそうなんですけれども、信号のことも一緒に考えていただければと。ぜひ時間的に変わる信号にしてほしいなと思います。

この辺も中署さんのほうにお願いします。

【木谷道路管理課長】

道路に関するご要望で、金沢高校の前であるとか泉に抜ける電车道であるとかというところで、信号については今日のお話もう少し詳しく後で教えていただきながら、強く中署のほうに私どもからもお伝えしたいというふうに思っております。

また、この後でも詳しい状況をまた教えてください。よろしくお願いします。

【三馬校下町会連合会】

道路の穴ぼこの補修の件で要望なんですけれども、私毎朝、小中学校の通学路で見守りに立っているんですが、先ほど連町さんが話したように生活道路の裏道をスピード上げて走っていく車が多いんです。

それで、穴ぼこの補修を何回かしていただいているんですけれども、穴ぼこあったら真中に盛ってきて周りに隙間があるような補修の仕方、完全に水がたまらないような補修の仕方でないもので、走ってくる車がばしゃーと跳ね上げていくんです。それがたまたま小中学生が通るときに子供さんに跳ねがかかってしまうんです。

それであるべくスピードを落としてくれるように、今、車のほうに合図を送っているんですけれども、穴ぼこの補修をもう少し完全にしていっていただけないかなと思います。

【木谷道路管理課長】

私ども穴ぼこが空いていたりしたときに、多くの連絡がございます。

まずは補修といいまして、とにかく空いた穴を埋めてきています。同じところで事故があったり、つまずいたりしないように、まずは情報が来ましたらすぐ現場のほうへ行って補修します。その後修繕ということで、一時的に合剤で埋めた穴を広い範囲を取りまして、この後修繕工事を大体1か月から2週間程度でやるものもありますし、その状態によって少し置いて広めにやるものもございます。

また、そういったことできれいに直っていないなというようなお話であったり、もう少し広く修繕してほしいな、または修繕した後でも水がたまっているよというような情報があればまた言っていただければ私どもで現場に向かい、またお話を伺いながら修繕してまいりますので、よろしくお願いいたします。

道路のインフラ、昭和からたくさん舗装がされて特に金沢市、下水道が普及したときに一斉に舗装しております。下水道が入ったときから今大体三、四十年がたっておって、一

齊に傷んできている状況もございます。

金沢市では1年間で今7,000件くらい道路に関するご要望と相談があります。お聞きしましたらすぐ現場のほうに職員を向かわせますので、ご気軽にご相談ください。

(6) 市長まとめ

【村山金沢市長】

本日まず、遅い時間にお集まりいただきましてありがとうございます。

そして、校下の課題と共通の課題について取りまとめをいただきました。本当にありがとうございました。

やはりこういう形で対面で行うことの価値があったなというふうに感じさせられる、そのような時間を共有させていただきました。

また、市議会議員の先生、今日6人来られているんですけども、非常に多くの先生方がここの地区から出てきているんだなと思いました。市議会議員の先生方もこのやり取りを聞いておりますし、またいろんな悩み事を先生方を通じて市のほうにお出しいただければと思っております。

本日の課題の中で、例えば道路環境については追加でのご質問もいただきました。特に子供の安全対策については喫緊の課題だと思っております。危険なところ、大変なことが起こらないうちに事前に対策をすることが非常に大事だと思います。

また、先ほど穴ぼこの話もありましたけれども、これは穴ぼこが空いたことによってパンクしたとか、けがした、そういったことの損害賠償請求はもちろん市のほうで対応させていただくんですけども、それ以上に大変な事故につながるおそれもあります。

ぜひお気づきのところ、先ほど市道延長2,200キロあるということ、これ全部毎回点検することはなかなか難しいです。特に除雪作業の後、4月、5月といった中では、雪がなくなってよく見えてくると実は穴ぼこが空いていたというような発見もございますので、ぜひ早めに道路管理課のほうに情報をお寄せいただければと思っております。

そのほか、危機管理の関係の課題などもいただきました。伏見台地域をはじめとして、危機管理意識が強い、そして共通課題としても危機管理についてお寄せいただいたということ、とてもうれしく思っています。

様々な災害がありますので、それに対応してどのような避難が必要か事前に考えておかなければならないと思っておりますし、特に災害が頻発している中で危機意識を高めておくこ

と、その意識が高いときに対策を行うことが大事であると思いますので、ぜひその辺りも防災訓練なども通じて意見交換をいただければと思っております。

そして、これが共通課題でもいいかなと思った金沢方式の見直しの話です。

私も、実は芳斉校下に住んでおりますけれども、芳斉校下で公民館、児童館の建て直しというものが今回ございました。とは言いながら私マンションに住んでおるんですけども、このマンションに住んでいる子の半分以上は隣の長田町校下に通ってしまっていて、芳斉の児童館、公民館あまり使わないんだけど、これでどう負担するのかということでマンション町会の中で非常に意見が割れて難しいところがありました。

そういった中でも最終的にはまとめることができ、様々な形で地域に対して思いを持つことができた、地域課題について考えることができたというのは大きなプラスの意味があったかなと思えました。

金沢方式、様々なご意見がありますけれども、地域のコミュニティの醸成、あるいは一体感を得るというためには非常に大事なことでもありますし、私の元々東京などで住んでいたところは公民館、児童館は区役所が建てるということでありましたが、それは箱がそのまま建ってそれを使いなさいというような形でしたが、ここに住民の意見を入れてどんな児童館にしたいんだ、どうやって使っていくからどういう構造がいいんだ、そんな意見交換ができるのは一つ金沢方式のいいところかなというようにも思っております。

一方で、町会の加入率が下がったり、そして少子・高齢化の中でどのような形にしていっていいか、これは大きな課題であります。児童館、公民館だけではなくて、消防団のポンプ車の購入、そういったものも全て関わってきます。

現在、金沢方式の在り方について庁内の組織で検討しているところでもありますので、その結果を踏まえてまたお知らせできることがあると思っております。

また、この建築単価の増加についてはどのように対応したらいいのか市のほうとしても苦慮しているところです。市の施設についても上がっていく一方で税収はそんなに上がらないという中、これも対応しなければいけない課題だと認識しております。

また勉強させていただきながら、また建設するまでの期間については少し時間が出てくると思いますので、ご意見もその都度賜ればというように思っております。

様々なご意見をいただきました。勉強させていただくことが非常に多くございましたので、また庁内に戻って研究をしたいと思っておりますし、これからの都市像をつくる中でも、そして都市像の行動計画というところに落としこんでいくことになっていきますけれども、その中

でも併せて検討ができればと思っております。

本日は、本当に貴重なお時間をいただきましてありがとうございました。